

教育基礎論

第5テーマ 教育とは何か(3)

教育と社会的能力(ヒト、人間、そして教育)

日付:

0 本テーマの導入 ―第3,4テーマの要点の確認―

①「教育」という行為の定義は？ (第3テーマ)

・「教育」は、広く捉えれば、学習者の()を()することである。

②教育をめぐる二つの大きな考え方は？ (第4テーマ)

①.....()する側(多くの場合は(おとな／子ども))を重視する教育観

②.....()する側(多くの場合は(おとな／子ども))を重視する教育観

③ ②－①・②それぞれの主な目的は？ (第4テーマ)

①‘.....特定の()の組織的な(()で()な)伝達・注入

②‘.....()する側(多くの場合はおとな／子ども)の()・()などの涵養

④ ③－①‘における「特定の()」の具体例は？ (第4テーマ)

・社会の() (道徳、価値観、規範など)・() (作法など)、文化、伝統、歴史など

⑤ ④は、ヒトが生まれつき身につけている、あるいは、自然に身につけていく能力か？ (本テーマ)

→⑩

⑥ ④の伝達・注入は、学習者の個性・興味・関心・主体性・自発性どう向き合うか？ (第4テーマ)

・()などの伝達・注入は、学習者の個性・興味などを重要視(する／しない)。

【理由】……④の伝達・注入が重視するのは、教育の()性や()さだからである。

⑦ 【発展】②－①、③－①’、④、⑤のような教育は、誰のために行われる？ (本テーマ)

・学習者本人のため(学習者が()で生活できるようにするため)

・()の秩序の維持のため()の構成員が特定の能力や価値観を身につけなければ()そのものが維持できなくなるため)

⑧ 教育は、いつ、どこで、誰によって行われるか？ (第6テーマ)

・教育は、_____行われる。

【理由】……教育を()・()変化)への()と広くとらえれば、それは()の全体、すなわち、あらゆる場面において行われ得る行為だからである。

⑨ ⑦のような()全体を通じた教育により、人間はかたちづくられるか？ (本テーマ)

☆①()における②() (=教育)を通じて、人間は③()

【参考】

・「生活が陶冶する」(J.H.ペスタロッチ) ・「人間は環境の子である」(R.オウエン)

- ⑩ ⑨－☆のような教育を通じて、④は充分に身につけられていくか？(参照:⑤) (本テーマ)
- ・(⑦)における(④)(=教育)を通じて、ヒトは④を身につけてはいく。
 - ・しかし、()などは、生まれつき自然に身につけていく能力(である／ではない)ため、完全に自然の手に委ねた場合、その修得に著しい差異が生じる可能性がある。

I 教育の意味と目的③

1 ヒトと人間、そして教育

☆教育は、人間にとってきわめて重要な営みである。

・教育は、人間が生物学上の「ヒト」として生まれ、成長し、()としての「人間」となるために必要な営みであるから

※I. カントの言葉

・「人間は()されなければならない唯一の被造物である」

被造物……神により創造されたもののこと

・「人間は()によって初めて()となることができる」

→この言葉の意味は？

※「ヒト」と「人間」の違い

①「ヒト」……生物学上の一類としての人類＝④

②「人間」……「社会的生物」＝⑤

※本テーマでは、「社会的生物」＝⑤を、「社会的能力を身につけたという意味での」「人間」ととらえる。

④ホモ・サピエンス・サピエンスという動物

→生物学において他の生物と区別された、いわゆる「人類」

⑤社会を構成し、その中で与えられた役割を果たすことで社会を機能させ、また社会において生存可能となる個人

→社会で生きていくための能力(**社会的能力**)を身につけたヒト

☆社会で生きていくための能力(**社会的能力**)には何があるか？

- ・
- ・
- ・

【参考】「ホモ・ルーデンス」(J.ホイジンガ)、「ホモ・エコノミクス」。社会形成、文化保持、言語使用

・「社会的能力」は、生まれつき身につけている、自然に身につけていく能力か？→2 野生児の事例

2 野生児の事例

※「野生児」とは？…何らかの要因で、()から離れた状態で成長した子どものこと

→主な「要因」

- ①()に育てられた。
- ②()な状態において生活した。
- ③監禁された状態などにおいて生活した。

…これらの要因により、野生児は、人間社会と関わりをもたずに成長する。

→野生児は、()の手による()を受ける機会を得ずに成長することになる。

※著名な「野生児」

- ①「アマラとカマラ」(「インドの狼少女」)→【資料1】
- ②「ヴィクトール」(「アヴェロン」の野生児)
- ③「カスパー・ハウザー」(同名の実験・症候群の語源)

※カマラやヴィクトールが十分に身につけられなかった能力は？

【参考】「野生児の事例」(スライド)

☆生物学上の()が、様々な能力(特に、)能力を身につけた存在という意味での()となるためには、(人間による)()が必要である。

・人間の成長には、()の時期、特に()の時期における が重要である。
→子どもは、(適切な)において(人間の手による) を受けなければならない。

※乳幼児期に人間の手による教育を受けない場合、育ちにくい能力は？
(主に、人間社会において発達する傾向がある能力は？)

【参考】異なる教育を受け、異なる環境に置かれた双生児はどうなるか？

【資料1】「養育日記」におけるアマラとカマラの行動

・「カマラとアマラは、地面に置かれた皿に口を付け、犬のように皿から飲み食いするのが常だった」(66 頁)。

・「カマラもアマラも、人間のように歩けなかった。彼らは四つ足で前進した。・・・また、非常にゆっくりと動くときはふつう手とひざで進んだ。この姿勢だと速く走れなかった。四つ足だと非常に速く走ることができ、その時はとても追いつくのが難しかった」(67 頁)

・「アマラとカマラは、発見されたとき人間の音声をもっていなかった。彼女らは何もしゃべれなかった。・・・私たちが耳にすることのできた唯一の声は、真夜中に聞こえてくる独特の叫び声というか、吠え声だった」(89 頁)

・「カマラの語彙は 1926 年までで 30 語だった」(154 頁)

(J.A.L.シング(著);中野善達・清水知子(訳)『狼に育てられた子:カマラとアマラの養育日記』福村出版、1977 年)

【参考】 教育による「人間」の成長に関する言葉

- ・「植物は栽培によってつくられ、人間は教育によってつくられる」(J.J.ルソー『エミール』)
- ・「人間はただ人間的な社会においてのみ人間となる」(P.G.ナトルプ『社会的教育学』)

【学習のヒント】

- ・「社会を構成し、社会で他者とともに生活する能力」を何というか。
→その能力には、具体的にどのようなものがあるか(三つ以上)。
- ・ヒトは、「社会を構成し、社会で他者とともに生活する能力」を生まれつき身につけているか。
- ・「社会を構成し、社会で他者とともに生活する能力」を身につける方法は何か。
→人は、こうした能力を自然に身につけていくか。
- ・人間社会において成長・発達する機会を得なかった子のことを何というか？
→その具体例で著名なものは誰か。その具体的特徴はどのようなものか。
→彼らは、保護されてからどのような能力を身につけたか。
→彼らに身につけなかった能力はあるか。

問1 次のI. カントの言葉の意味について、以下の用語を使用して説明しなさい。

- ・「人間は教育によって初めて人間となることができる」

【用語】①ヒト、②人間、③生物学、④社会的能力、⑤野生児

問2 以下のI. カントの言葉の意味について解答欄に適切な語句を入れよ(語群にない語句が解答欄に入る場合もある)。⑤と⑥には、明確に異なる概念を記入することとする。

I. カントは、「人間は(①)によって初めて人間となることができる」という言葉を残している。これは、(②)学上的一种である(③)は、生まれながらにしては(④)的能力を有していないこと、そして、成長する過程で人間による①を受け、(⑤)や(⑥)などの④的能力を身につけて、(⑦)的生物という意味での(⑧)となることを意味している。

上記に関して、動物による世話や親による監禁などにより、人間の手による①を受けずに成長した子どもの事例が存在する。一般に彼らは(⑨)と呼ばれ、その具体的な例には、アヴェロン(⑩)、インドの狼少女とされる(⑪)などがある。